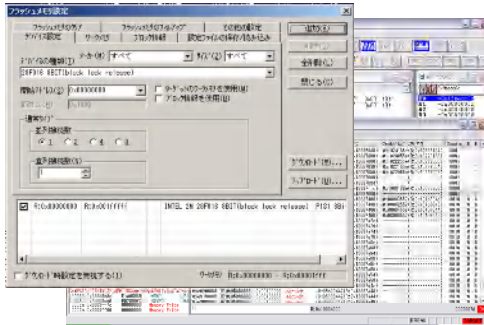


WATCHPOINT Debugger for EJSCATT Xtensa



JTAGエミュレータ「EJSCATT」との組合せで使用します



- 小型サイズ(70mm×108mm×17mm)
- USB/バスパワーのみで動作可能(デバッガ及びPC接続のライターとして使用時)


■ 基板の配線切断、MPUの端子状態を確認できるソフトウェア「Query-J」が動作可能^{※5}

特長

- ソフトウェアのみ追加購入でき、ハードウェア本体は共通でソフトウェアの入れ替えのみで使用できます
- フラッシュメモリへのダウンロード機能
- オンボードまたはCPU内蔵フラッシュメモリへの書き込み機能
- スタンドアロンライターとして単体使用可能です(ACアダプタで動作)
- 本体のPLAYボタンによりワンタッチデータ書き込み可能
- 量試、量産品の自動検査、バージョンアップ装置として利用可能

- Tensilica社ライセンスのXtensa LXをサポート
- Tensilica社指定ICE用インターフェースに対応
- Tensilica社Diamond Standard Processorsに対応^{※1}
- TIE、FLIX命令に対応
- 内蔵ペリフェラル参照/変更
- ハードウェア・ブレイクポイントは計4点
(インストラクションアドレス; 2点、データアドレス; 2点)
- ソフトウェア・ブレイクポイントは無制限
- セミホスティング機能をサポート
- C/C++高級言語対応 (動作OS: Windows2000/XP/Vista/7^{※2})
- 各種PC^{※3}、ノートPCなどのホストマシンで動作(USB接続)

主な仕様

対象CPU 	T1020、T1030、T1040、T1050、6 ^{※4} 、LX、7、LX2、LX3、LX4 Diamond Standard Processorsコア ^{※4} 106Micro、108Mini、212GP、232L、570T、545CK、330HiFi、388VDO
ユーザ電源	VCC1.8~3.6V
メモリ空間	全ての領域がユーザに解放されています。
割り込み	全ての割り込みがユーザに解放されています。
ブレイク	以下の条件を設定できます。 ・ハードウェアブレイクポイント: インストラクション: 2点、データ: 2点* 命令実行アドレス指定、メモリアクセス等指定 ・ソフトウェアブレイクポイント: 数は無制限 ・その他: デバッガからの強制ブレイク * ブレイクポイントの数は、CPU作成時に決まります。 * 命令実行アドレス指定の2点、データアクセス指定の2点は、CPU作成時に必ず設定してください。
フラッシュメモリ ダウンロード機能	ターゲットシステム上のフラッシュメモリに対して、デバッガからプログラムを直接ダウンロードできます。
トレース機構	トレース機構が組み込まれているXtensaLXの場合、弊社デバッカでサポート出来ます。 トレース機構についての詳細は弊社までお問い合わせください。

※1 Diamond Standard Processors搭載でオンチップデバッグインターフェースの付いたASICに対応。
 ※2 Windows XP Professional x64Edition(64ビット版)およびWindows Vista/Windows 7の32ビット版、64ビット版に対応。
 ※3 一部の機種において動作チェックの必要がありますので、事前に確認のほどお願いいたします。
 ※4 Xtensa6、Diamond Standard Processorsは、MMUIには対応していません。
 ※5 使用しているデバイスのBSDFLファイルが必要です。

製品構成

商品構成 以下のものが同梱されます。



■CD-ROM



■JTAGケーブル

※本製品は、Tensilica社ライセンスのXtensa シリーズCPU対応デバグとして開発された製品です。他のCPUのソフトウェア開発には使用することができません。

サポート言語:

高級言語デバグ「WATCHPOINT」で高級言語デバグを行うためには、デバグ対象のプログラムとそのプログラムのデバグ情報を必要とします。最適なデバグ情報を出力するCコンパイラまたはアセンブラには下記の言語があります。

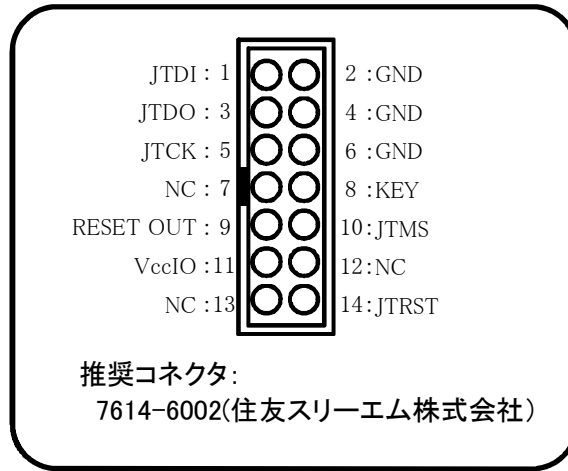
- ・コンパイラはCPU作成時にTensilica社から提供されます(例外もあります)

サポートOS:

- ・TOPPERS

※サポートコンパイラ・Ver等は、変更がある場合がありますので、お問合せください。
※サポートOSは、サポート言語のVerによって、対応状況が変わる場合がありますので、お問合せください。
※サポートOSは、一部オプションソフトウェアが必要な場合がありますので、お問合せください。

ターゲット接続



WATCHPOINTソフトウェアライセンスについて

WATCHPOINT Debugger for EJSCATT ではライセンス・システムを採用しています。インターネットを利用し、ソフィアシステムズのライセンスデータサーバーにアクセスしてライセンスを取得します。ライセンスを取得するとライセンスファイルが生成されます。ライセンスファイルはPCを移動して使用することができます。1台のJTAGエミュレータに対して複数種類のWATCHPOINTライセンスを取得する(関連付ける)ことができます。

※WATCHPOINTライセンスは一度関連付けたJTAGエミュレータのみで使用可能です。別のJTAGエミュレータで使用する場合は、ソフトウェアを追加購入してください。

セレクション・ガイド(製品ご購入ガイド)

お客様側にてご用意		標準的なデバグシステム構築に購入必要な製品			オプション製品
ホストPC※1	PCとの接続	JTAGエミュレータ	ソフトウェアデバグ(WATCHPOINT)	サポートサービス	アドオンソフトウェア、アダプタ
WindowsPC	USB2.0/1.1接続	SCD001J EJSCATT	SCM0800 WP DBG for EJS Xtensa	SSS010 ソフィア・サポート・サービス	SCT001 Query-J

太枠口で囲まれた部分の製品は標準的なデバグシステム構築時に必須となる製品です。JTAGエミュレータはソフトウェアデバグライセンスご使用時、ハードウェアキーの役割を果たします。任意のJTAGエミュレータとの組合せでソフトウェアデバグライセンス発行後、別のJTAGエミュレータとの組合せで使用することはできません。

※1 ホストPC環境、OS:Windows2000/XP/Vista/7、メモリ:Min 32MB以上・推奨64MB以上、HD容量:インストール時20MB必要。

(MKT-16CAP24)

- * 各製品は、各社の商標または登録商標です。
- * 製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

価格はお問い合わせください

お問い合わせは最寄りの営業所へ

- 本社営業部 (044)989-7253(直)
- 大阪営業所 (06)4805-8505(代)
- 名古屋営業所 (0586)28-7365(代)